

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

広中央中学校区 校番 4 学校名 呉市立広中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	B	・授業参観をみて、先生方はタブレットを利用するなど指導に工夫が見られる。 ・授業に参加していない生徒がいた。より、魅力的な授業づくりが課題と感じた。
目標達成のための方策の適切さ	A	・「自分には良いところがある」と回答した生徒の割合が多く、安心した。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	・保護者の情報発信の目標値が向上するよう取組を進めてもらいたい。 ・生徒・保護者と教職員との連携が重要であり、引き続き、密に連携をしていただきたい。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・本年度の体育大会、文化発表会における学校教員の工夫に感心しました。今後も生徒の自己肯定感を育成する取り組みに期待しています。
その他		・基本的な生活習慣を定着させるについては、メディア接触の適切な時間を生徒・保護者に提示してもらいたい。 ・地域とのボランティア活動を充実していただきたい。 ・コスモスボランティアはとても良い取り組みであり継続していただきたい。 ・メディアで取り上げられているように、教員の働き方改革は、喫緊の課題と思います。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・日々、生徒に寄り添った対応を継続していく。 ・来年度の目標設定を、今年度の結果に基づいて設定する。 ・業務に優先順位をつけ、優先順位の低い業務を削減し、可能な時には定時帰宅、年休取得などでリフレッシュする。
--------------------	--